

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-151143 (P2020-151143A)
【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2020-039
【出願番号】特願 2019-51947 (P2019-51947)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正面側が開口した箱状の基体と、

基体の開口を開閉可能な前扉と、

施錠装置と

を備え、

施錠装置における所定の取っ手が操作されると前扉が開放可能となるよう構成されてお
り、

基体の背面部には、最大径が 100 mm 以上の第一開口部が形成されており、

第一開口部を介して手指を用いて施錠装置における所定の取っ手が操作可能となってお
り、

基体の背面部には、第二開口部が形成されており、

施錠装置における所定の取っ手は、第二開口部から視認可能となっており、

第二開口部は、施錠装置における所定の取っ手と対向する基体の背面部の位置に形成さ
れている

遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

正面側が開口した箱状の基体と、

基体の開口を開閉可能な前扉と、

施錠装置と

を備え、

施錠装置における所定の取っ手が操作されると前扉が開放可能となるよう構成されてお
り、

基体の背面部には、最大径が 100 mm 以上の第一開口部が形成されており、

第一開口部を介して手指を用いて施錠装置における所定の取っ手が操作可能となっており、
基体の背面部には、第二開口部が形成されており、
施錠装置における所定の取っ手は、第二開口部から視認可能となっており、
第二開口部は、施錠装置における所定の取っ手と対向する基体の背面部の位置に形成されている
遊技機である。